

目次

第一章 体制転換と労働法制（森下 敏男）	1
1. 体制転換期の労働法制の変動	1
2. 新労働法典の立法過程	7
3. 新労働法典の特質	10
第二章 プーチン政権の社会政策改革（笠井 達彦）	19
はじめに	19
1. プーチン政権の社会政策改革をとりまく環境	19
2. プーチン政権の進める社会・労働改革	21
3. 具体的施策と現状	25
おわりに	34
第三章 2001年新労働法典（武井 寛）	36
はじめに	36
1. 新旧労働法典の異同—概略	36
2. 新労働法典制定をめぐるいくつかの論点	41
3. 新労働法典制定後の状況	48
おわりに	53
第四章 ロシアにおける労働紛争と法（小森田 秋夫）	56
1. はじめに	56
2. 個別的労働紛争	57
3. 集団的労働紛争	68
4. 賃金未払いを理由とするストライキ	72
5. おわりに	76
第五章 ロシアの新年金制度（篠田 優）	85
はじめに	85
1. 新年金制度の概要	85
2. 積立方式導入の背景	100
3. 新制度への批判	101
おわりに	102
第六章 提言（森下 敏男）	106